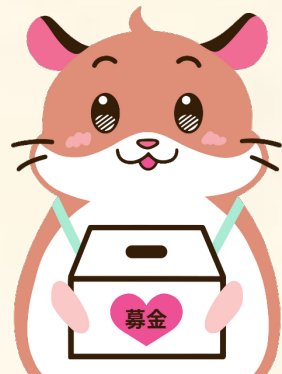




インフォメーション



組合員活動研修セミナーにて
「たすけあい奨学制度」の
周知と募金活動、個人賛助会員の
勧誘を行いました！



奨学財団キャラクター ヘルム



たすけあいの輪を広げよう！



107,959円の寄付を頂きました！

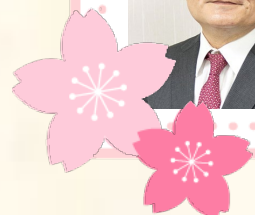


- ♥ 参加者全員にチラシを入れたヘルムのクリアフォルダーを配布
- ♥ テーマセッションにて「たすけあい奨学制度のつどいミニ」を開催



「たすけあいの想いを語り継ぐ」

代表理事・武川 正吾





ヘルムちゃんの活躍

全国大学生協連奨学財団の「たすけあい奨学制度」は、扶養者の死別により学業の継続が困難になった学生を支援することを目的としています。本制度は、全国の大学生協組合員や支援者の善意によって支えられ、設立以来、多くの寄付者の協力により拡充されてきました。関係者からは様々なメッセージが寄せられています。

「この奨学制度のおかげで、諦めずに前を向くことができました。私もいつかこの恩をお返しできる大人になれるよう、大学での学びを精一杯努力したいです。」（同志社女子大学2年生）多くの受給者が、支援を受けたことで将来への希望を持つことができたと言っています。

「大学では学ぶことはもちろんのこと、人生の大切な経験を積む場でもあります。その機会が途切れないように、少しでも力になればと思います。」（桜美林大学卒業生）寄付者の皆様からは、経済的な支援だけでなく、学生たちへの温かい励ましも寄せられています。

「この奨学金のおかげで、無事に大学を卒業し、社会人としての第一歩を踏み出すことができました。今後は私も、困難を抱える学生を支えられる立場になりたいと考えています。」（2022年度卒業生）扶養者との死別を乗り越えた卒業生の存在は、後輩たちにとって大きな励みとなり、助け合いの精神が次の世代へと引き継がれる重要な役割を果たしています。

毎年、多くの学生がこの制度を利用し、学業を継続しています。支援の輪を広げるため、広報活動や寄付の呼びかけも行われています。この活動の象徴としてイメージキャラクターの「ヘルムちゃん」が誕生しました。ヘルムちゃんは助け合いのシンボルとして、多くの学生や支援者に親しまれています。

たすけあい奨学制度は、支援を受けた学生が次の世代を支える循環を生み出しています。今後もこの輪が広がることを願っています。本制度に関わるすべての皆様に、心からの感謝を申し上げます。

一般財団法人 全国大学生協連奨学財団
代表理事 武川 正吾



たすけあい奨学制度 応募・給付・寄付

～2024年10月から2025年2月～

期間		応募人数	審査人数	給付人数	給付金額 (万円)	寄付金額 (万円)
2024年10月	今年度	45	54	44	528.0	76
	前年度	32	40	36	360.0	11
2024年11月	今年度	37	43	33	396.0	195
	前年度	43	42	32	330.0	11
2024年12月	今年度	40	33	31	372.0	35
	前年度	41	36	31	310.0	69
2025年1月	今年度	33	32	31	362.4	203
	前年度	38	41	28	280.0	34
2025年2月	今年度	43	48	37	432.0	258
	前年度	34	35	26	250.0	388

2024年10月 ～ 2025年2月	今年度	198	210	176	2,090.4	768
	前年度	188	194	153	1,530.0	513
	前年増減	+10	+16	+23	+560.4	+255
	※1992～ 累計	-	15,829	6,068	81,857.6	-

※審査・給付人数は当月以前の応募人数を含みます。

※1992～累計：たすけあい奨学制度は、大学生協連の勉学援助制度を引き継いでいます。

給付率 今年度 83.8%（前年度 78.9%）

▶▶ 大学生協別・給付実績は17ページ参照 ◀◀

■寄付

前年の同時期よりも増え、**768万円余りのご寄付**をいただきました。

その多くが各会員生協を通じて贈っていただいた

卒業生からの寄付によるものです。

寄付金は全額、奨学金に使用しています



賛助会員

～2024年10月から2025年2月～

区分	2025年2月		2024年9月		賛助会費 1 口金額・対象
	会員数	口数	会員数	口数	
特別団体賛助会員	8	31	5	24	1口10万円。 主として大学生協のお取引先
一般団体賛助会員	2	3	0	0	1口1万円。 財団の目的・事業に賛同する法人・団体
大学団体賛助会員Ⅰ	2	10	2	10	1口100万円。 大学生協連、コープ共済連が対象
大学団体賛助会員Ⅱ	201	1,095	194	1,082	1口1万円。 主として大学生協連の会員が対象
個人賛助会員	171	1,506	149	1,302	1口500円。 HPよりクレジットカード決済を行い加入

団体賛助会員 213 団体

個人賛助会員 171 名に増えました！



新規加入・団体賛助会員

■特別団体賛助会員

NRIネットコム株式会社 / ジャパンバストレスキューシステム株式会社 / 日本生活協同組合連合会

■一般団体賛助会員

株式会社プランユケー / 千葉県生活協同組合連合会

■大学団体賛助会員Ⅱ

石川工業高等専門学校生活協同組合 / 奈良教育大学生生活協同組合 / 奈良県立大学生生活協同組合
京都経済短期大学生生活協同組合 / 福岡教育大学生生活協同組合 / 北九州市立大学生生活協同組合
西南学院大学生生活協同組合

※アイウエオ順に掲載 ※団体賛助会員一覧はホームページに掲載

寄付者様から 応援メッセージ

応援メッセージ

大学という場所は、社会に出る前の子どもらが
一番 我儘になれる場所と感じます。
この制度が あなたの我儘の一助になれば
幸いです。

返還された出資金よりいただいた寄付金額 ￥ 5000

学校名 名城大学 記入日 2025年 1月20日

奨学金を受けた学生からのメッセージ



HPにも毎月掲載

横浜国立大学 3年

全国の仲間への御礼とひとこと

ご支援ありがとうございます。必ず社会に恩返しできるように、今後も学業も課外活動も頑張ります。

同じ境遇にある学生にひとこと

私はもともと母子家庭でしたが、その母が亡くなりました。
かわいそうな子と思うかもしれませんが、母のもとに生まれることができてよかったと思っています。今は大変ですが、母が亡くなったことが不幸でかわいそうな人、と思われないくらいに自立して楽しい人生を送ろうと思っています。
それぞれにそれぞれの境遇があり、大変な部分も多いし、全部やめたくなることも多いけど、幸せな未来を信じて生きていけたらいいなと思っています。
私ができることなんてないと思いますが、今つらくてきつい、その何倍もの素敵な未来が待っていることを、私の分も皆様の分も、心から祈っています。

津田塾大学 3年

全国の仲間への御礼とひとこと

父が急に他界し、3年通ってきた大学を辞めなければならない、そうでなくても、実家の家計の負担になってしまうのではないかと考えていました。
しかし、このたすけあい奨学制度の存在を知って、あと1年、バイトを増やししながら、節約をしながら勉強をして、今まで続けてきたことをやり遂げたいと思うようになりました。有難うございます。

同じ境遇にある学生にひとこと

一人じゃないから、急に強くならなくても良いから、少しずつ、前に進んでみましょう。

東京都立大学 3年

全国の仲間への御礼とひとこと

長年持病に悩まされていた父親がとうとう亡くなってしまったときには、自分の無力さに打ちひしがれ、普通に暮らすことが私にとっては贅沢であるのかと思うこともありました。
しかし、少しずつ前を向けるようになったのも、周りの支援あってのことだと思っています。

同じ境遇にある学生にひとこと

人生には大切な人との別れが遅かれ早かれ来ると思います。大切な人を亡くした時は、ただ悲しみに暮れてしまうと思いますが、私は父からの最後の教育であったのだと思うことで、受け入れることができました。
精神的にも様々な苦勞がこれからあると思いますが、その経験は糧となり、一回りも二回りも人間として成長する機会でもあると思います。

東京芸術大学 2年

全国の仲間への御礼とひとこと

東京の大学に通っていると、家庭環境や貧富、出身地で大きな格差があると感じます。
それでも皆平等に学ぶ権利はあり、父親を亡くし学業に集中することが難しくなってしまった私にとってこの奨学制度の存在はとてありがたいものだと思いました。私も親を亡くされた学生の皆様とのたすけあいのお手伝いをしていきたいと思っています。

同じ境遇にある学生にひとこと

扶養者を亡くされた学生の皆様。悲しかったり、辛かったり、複雑な感情の方もいるかと思いますが、とにかくお疲れかと思っています。亡くされたばかりの方はゆっくり休んでほしいと思います。自分のペースでまたいつもの日常に戻ることができるようにともに乗り越えましょう。どうかご自愛ください。

立命館大学 2年

全国の仲間への御礼とひとこと

本当にありがとうございます。
大学の生協ショップで助け合い募金箱を見て、顔も見知らぬ相手のために募金をしてくださる方がいることを実感し、感謝の気持ちでいっぱいです。
私も大学を卒業し、いつか生活に余裕が出来れば皆様のように直接的な援助を惜しまない人になりたいと思います。

同じ境遇にある学生にひとこと

扶養者の方が長らく病気と闘っていた方、突然亡くなってしまった方、様々だと思います。お悔やみ申し上げます。
私は、未だに大学の友達誰一人に母が亡くなったこと、生活環境が大きく変わりみんなと同じようには遊んだりできないことを言えずにいます。
みんなの色んな当たり前が当たり前ではないことが辛く、ふさぎ込んでしまっています。
死後半年が経とうとする今でも毎晩母を夢で見ます。大学に居ても、何をしてもふと思い出します。
ですが、たすけあい奨学金制度でなんとなく同じような状況の方と繋がれたような気がします。
無理に明るくならなくていいのだと思います。どうか、一緒に頑張りましょう。あなたのことを心から応援しています。

北九州市立大学 1年

全国の仲間への御礼とひとこと

たすけあい奨学金を贈ってくださる皆様に感謝致します。
母親が亡くなり、妹と2人で暮らしていかなければならなくなり、特にお金に関しての不安は大きかったです。
学業を続けたいという気持ちを捨てずに済むこの制度が、他の学生にも届くといいなと思います。

同じ境遇にある学生にひとこと

扶養者が亡くなって、家族を失った悲しみだけでなく急にお金や生活を管理しなければならず、抱えてしまう責任の重さなど同年代の友達と簡単には分かち合えない複雑な感情があると思います。
でも家族との別れは誰しもが経験することで、私たちはそれが人より早かっただけだと考えています。
ここから強く生きていって、自分の糧になることを信じましょう。

東京工芸大学 4年

全国の仲間への御礼とひとこと

この度はたすけあい奨学金の審査に通過させてくださり誠にありがとうございます。
このような機会を活かして奨学金をいただくことで自分の夢に向かって努力できる時間を確保できるので、とてもうれしく思っています。
私は大学を卒業後、大学院に進学し研究を続けることで専門性を磨き、産業界に貢献したいと考えております。
そのため、現在は週3日(一日約7時間)でアルバイトをしており生活費を稼ぎながら、大学で研究に励んでいます。アルバイトと研究の両立は大変ですが、この春に4件の学会に申し込むことができました。
アルバイトではお金を稼ぐこと、および使い方の大切さを、そして研究では忍耐力を学びました。
母が亡くなってからの生活は一変してしまいましたが、夢である大学院進学を実現するためのスタートダッシュとしてアルバイトと研究に勤しんだことにより、現実的に物事をみることができるようになりました。
また、たすけあい奨学金をいただくことにより、アルバイトの時間を減らし、研究活動に力を入れられるようになるため、奨学金をいただけることに深く感謝申し上げます。

同じ境遇にある学生にひとこと

扶養者が亡くなったことで生活が一変し、身体的にも精神的にも辛い状況だと思いますが、将来の夢を諦めないでできることから一つずつ行うことや苦しい時に自分の気持ちを吐き出せる環境を作ることを大切にしてほしいと思っています。
亡くなったことを誰かに話すことは勇気が必要ですが、先生や友達はきっと皆様の気持ちに寄り添ってくれます。
また一人で抱え込まずに話すことで、一人では思いつかなかったアイデアももらえるかもしれません。
そこから自分の夢に向かって前向きになることで、今までサポートしてくださった方も心から微笑んでくれると思います。
そして、たすけあい奨学金や他の給付・貸与の奨学金は自分の夢を実現する為に必要不可欠だと思うので周りの人に協力を仰ぎながら前進してほしいと考えています。

学業継続奨学制度(たすけあい奨学制度)についてのアンケート

大学生協奨学財団では、給付を受けた皆様にアンケートをお願いしています。

この制度の充実をはかり、一人でも多くの学生に給付ができる様にしていきたいと考えております。

給付対象となった学生の生活の実態や、大学生協学業継続奨学制度の使途、この制度についての要望など率直な意見を聞かせていただきたいと思いますので、ご協力をお願いいたします。(任意)

以下について、学生ご本人がご記入または入力してください。手書きの場合はボールペンでご記入願います。

1. たすけあい奨学金を贈ってくれる全国の仲間ひとことお願いいたします。

たすけあい奨学金でたすけられていふ人がいるので、本当にありがとうございます。
私も次は助ける立場になりたいと思いました。

2. 奨学金の主な使途予定を教えてください。

教材費や、授業料などの大学生活に必要なもの

3. 扶養者がお亡くなりになってから、あなたの家族の生活にどのような変化がありましたか？

父が亡くなったため、収入が激減したことが一番大変でした。しかし、大学での授業料補助などがあり、少しづつが負担が軽減しました。ですが、まだまだ大変な状況なので、これから頑張っていくと思います。

4. 同じような境遇にある学生へ、あなたからひとことお願いいたします。

少しでも困っていることがあろうなら、大学の相談室があればそこに行くと支援してくれることを教えてください。恥ずかしがらずに話せばいいので、勇気を出してみてください。
私も父が亡くなったときに、すごくお世話になりました。

5. たすけあい奨学制度について、意見や要望があればお書きください。

例：●●にポスターが貼ってあればもっと早く気が付けた、このタイミングで教えてもらえたら楽だった 等

入学したタイミングで、大学の資料と一緒に入っていたら良かった。生活にポスターが貼ってあったのは良かった。

●本アンケートの内容を、奨学財団や大学生協の発行物へ匿名掲載する場合について ※✓をつけてください

☒ 掲載してもよい

☐ 活字にしてなら掲載してもよい

☐ 掲載しない

記入日： 2024 年 11 月 日

お名前

学校名 酪農学園大学

1 年生(扶養者死亡時)

*ご協力いただきありがとうございました。他の書類と一緒に送ってください。

学業継続奨学制度(たすけあい奨学制度)についてのアンケート

大学生協奨学財団では、給付を受けた皆様にアンケートをお願いしています。

この制度の充実をはかり、一人でも多くの学生に給付ができる様にしていきたいと考えております。

給付対象となった学生の生活の実態や、大学生協学業継続奨学制度の使途、この制度についての要望など率直な意見を聞かせていただきたいと思いますので、ご協力をお願いいたします。(任意)

以下について、学生ご本人がご記入または入力してください。手書きの場合はボールペンでご記入願います。

1. たすけあい奨学金を贈ってくれる全国の仲間にとことお願いいたします。

皆に助けを借りながら、本当にうれしいです。
責任をもち、使わせて頂きたいと思っています。

2. 奨学金の主な使途予定を教えてください。

自分自身の生活に使う。(学業、為)

3. 扶養者がお亡くなりになってから、あなたの家族の生活にどのような変化がありましたか?

まだ亡くなったばかりで、家族みんな必死です。変化としては、前は母と妹とのついでが、強くはなれたと思います。

4. 同じような境遇にある学生へ、あなたからひとことお願いいたします。

父が亡くなった。本当につらく、夢をあきらめしめてしまうこともありました。父の約束の為、もう一度がんばろうと、強く思いました。きっと見えてくるはずです。一緒にがんばりましょう。

5. たすけあい奨学制度について、意見や要望があればお書きください。

例：●●にポスターが貼ってあればもっと早く気が付けた、このタイミングで教えてもらえたら良かった 等

学校の先生の手が、すぐに届いてくれた。助かりました。
これから続けたいほうが良い。心あたるところ、制度だと思っています。
本当にありがとうございます。

●本アンケートの内容を、奨学財団や大学生協の発行物へ匿名掲載する場合について ※✓をつけてください

☒ 掲載してもよい

☐ 活字にしてなら掲載してもよい

☐ 掲載しない

記入日: 27 年 1 月 27 日

お名前

学校名 豊橋創造大学

1 年生(扶養者死亡時)

*ご協力いただきありがとうございました。他の書類と一緒に送ってください。

たすけあい奨学制度に応募した 学生と家族の状況



父と離婚してから、女手一つで大学まで行かせてくれた母が癌で亡くなりました。
生前、母と約束した「大学を卒業すること」を果たすためにも、卒業まで大学で学びたいです。
みなさまの温かい気持ちによって集められたこのお金を就学費用のために使わせていただくとありがたいです。

父は癌で亡くなりました。

ステージ4の癌と告知され亡くなるまでの約1年3ヶ月、通院での抗癌剤治療や4度の入院などで入院費や治療費、薬代がかかってとにかく大変だったと母から聞いていました。

そんな中、母自身も昨年夏、急に体調を崩し1ヶ月程入院を余儀なくされ、難病で完治はしないので退院後も服薬、定期的な通院が必要となり仕事も何とか出来てはいるけれど、父が亡くなったことでもっと働いて収入を増やしたいが体調にも波があるから、、、と母も悩ましいようです。

母を少しでも助けたいとアルバイトはずっとしていましたが、看護学校の3年になってからはとにかく実習が多く課題もあるためアルバイトも実習期間はなかなか出来ずにあります。

そんな中、この奨学金を知り応募させて頂きました。

父は長年慢性腎不全と拡張型心筋症を患っており、闘病生活を続けながら、私たち家族のために身を粉にして働いていました。

母も専業主婦として父を支えるべく、父の病院への送迎や介護、家事全般をこなしていました。
現在、我が家は収入が著しく減少し、母が働きに出たとしても、私と妹の学費その他の費用を賄うには厳しい状況です。

そのため、卒業までの1年間、給付型奨学金と私のアルバイト代から学費と生活費を捻出しなければならなかったため、ご支援を頂けるとありがたいです。

父が今年の9月に間質性肺炎で亡くなり、それまでの治療費の支払いやお葬式の関連費用で多くのお金がかかりました。

父の介護により、母も長い間パートの仕事を休職していたため、学費の支払いが重い負担になっています。そのため、奨学金を申請致しました。

たすけあいのこころを拡げる

たすけあい奨学制度は、多くの人の「扶養者を亡くされた学生の学業継続を支えたという気持ちで成り立っています。私自身、本紙記載の「給付を受けた学生からの御礼やメッセージ」を読む度に、少しでも力になりたいという気持ちになります。

この間、全国大学生協連・全国学生委員会の活動の中で、この制度の周知活動や募金活動に取り組んできました。

先日行われた組合員活動研修セミナー2025では10万円を超える募金が集まり、またテーマセッション内で行われた「たすけあい奨学制度のつどいミニ」には約15人の方に参加いただきました。

様々な場面で制度のことを紹介する度に、共感し、協力していただける方がどんどん増えていっていることを実感しています。マスコットキャラクターであるヘルムとともに、引き続き制度の周知に取り組んでいきましょう。

一方で、この制度は「知ってもらう」だけでは成り立たないものです。制度を知った方による募金、もしくは賛助会員としての継続的な支援が必要不可欠となります。給付額が当初の10万円から12万円に引き上げられたり、給付条件が見直されたりなど、制度の拡充が進められ、より多くの方を助けることができるようになってきてはいますが、制度の継続にあたっては安定した財源の確保があってこそです。制度を知った皆さん、ぜひ賛助会員への加入や募金へのお力添えを、よろしくお願いいたします。



この制度と関わる中で、改めて「たすけあい」の価値や強さを実感しています。制度を通じたたすけあいによって、1人でも多くの学生の「よりよい大学生活と平和」を目指していきましょう。

名古屋大学理学部卒
2024年度全国大学生協連学生委員会
全国大学生協連奨学財団理事(当時)

中野 駿



みなさんもぜひ
たすけあいのこころ
を言葉にして拡げて
いきましょう！

全国各地の大学生協で行われている 活動を紹介します！！

桜美林学園生協 『卒業生からの寄付メッセージ』

桜美林学園生協では、卒業生の出資金返還に合わせ、卒業生からの寄付メッセージの取り組みをしています。森岡専務は主に、「**出資金返還のwebページの作り直し**」「**対象者のここを動かす作り**」を意識されていました。「**給付を受けた学生のメッセージが見える化**」「**寄付をした方がどのような想いで寄付されたのか**」を出資金返還のHPに掲載することで、卒業生に本制度の周知、返還された出資金をたすけあい奨学制度へ寄付をしていただけるような工夫がされていました。

寄付のお手続きフォームは、**メッセージ公開を想定した内容**にしており、寄付者メッセージを「**必須**」とすることで、多くの卒業生から寄付者メッセージをいただきました。
(2024年度は11名の方にメッセージをいただきました)
詳細は下記HPをご覧ください。

桜美林学園生協の卒業予定の組合員向けHP

桜美林学園消費生活協同組合HP > ご利用案内 > 卒業予定の皆さまへ
https://www.univcoop.jp/obirin/info/info_42.html

全国大学生協連奨学財団HP 寄付者メッセージ

一般財団法人 全国大学生協連奨学財団(たすけあい奨学制度)HP > 寄付者メッセージ
<https://www.univcoop.or.jp/syogakuzaidan/voice/message.html>

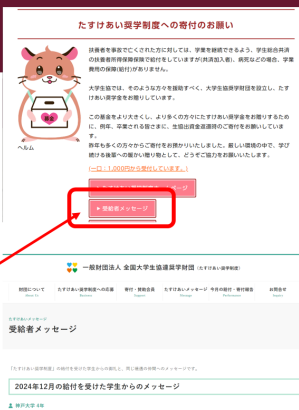
でも、ただWEBで案内するだけでは寄付などしてくれないと私は思っています。

なぜ私は寄付をしない、嫌いなかと自分自身に問いかけた時・・・

「結果が見えない」
「本当に役に立っているのか分からない」
「寄付したからは、気持ちだけでも見返りが欲しい」

ということで、
**結果が分かるような見せ方
受給者メッセージの見える化**を試みました

役に立っていることが分かりました



つぎに、寄付した人はどんな思いで寄付したのだろう？

寄付者メッセージの見える化をしました

どんな思いで寄付されたのかが分かりました

もし自分が寄付したとしたらそのメッセージもここに掲載されるのだろうと興味をそそられませんか(笑)

承認欲求をくすぐられる？

※寄付者は自分のコメントに見戻ってきますので、今後も全コメント掲載は継続していきたい



組合員活動研修セミナーにて、 寄付と個人賛助会員の呼びかけを行いました！

2025年2月10日から12日まで行われた、組合員活動研修セミナーにて、たすけあい奨学制度の寄付および個人賛助会員の呼びかけを行いました。
参加者の皆さんから107,959円の寄付が集まりました！



当日のテーマセッションでは「たすけあい奨学制度のつどいミニ」を開催し、たすけあい奨学制度の概要の説明とたすけあいアンケートを読んだ感想交流を行いました！
参加者からは「たすけあいの精神ってとても大切」、「ぜひ広げていきたい」などの声が聞かれました。



たすけあい奨学制度

2025年1月25日 #1



【発行元】
全国大学生協連学生委員会
学生委員長：高須 啓太
執 筆 者：瀬川 大輔



概要

参加者

名称：2025年度 第1回 奨学制度推進委員会
日程：2025年1月25日(土)14:00~17:00
場所：Zoom

坪（北海道） 齋藤・高橋（東北） 平塚・林・有吉・荻野・島田（東京）
榊原・松尾（東海） 溝越・久保・山原（関西北陸） 大西（中国・四国）
瀬野（九州） 中森・佐藤・渡邊・瀬川・高須・浦田・志村・小谷・藤島
戸張・吉村・伊藤・久野・寺山（全国大学生協連）
佐藤（コープ共済連）※敬称略

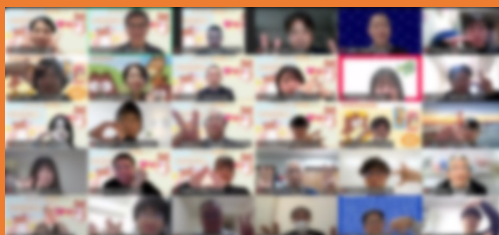
当日使用した資料は、
全国学生事務局のSharePointで
共有しています！

01 第1回奨学制度推進委員会 2025年度のスタート！

2025年度の推進委員メンバーとともに推進を！

2025年度第1回の奨学制度推進委員会のため、今年度推進委員メンバーの自己紹介から始まり、事前に学習として、たすけあい奨学制度の変遷・奨学財団がめざすことを提起した事前動画を視聴いただき感想交流を行いました。

大学生協奨学財団として本制度を推進するために、まずはたすけあい奨学制度がどのような制度なのか？を学習し、実際にたすけあいアンケートを読み合い、交流することで、本制度のよさを改めて実感する時間になりました。



推進委員の自己紹介を行い、2025年度ともに奨学制度を推進する仲間の存在を確認する機会になりました！

02 卒業生向けの取り組み推進 に向けて実践事例報告！

桜美林学園生協 卒業生からの寄付メッセージ

実際に卒業生からの寄付メッセージの推進に向けて、2024年度新学期で卒業生の出資金返還に伴い、多くの卒業生からたすけあい奨学制度への寄付・寄付メッセージをいただくことができた桜美林学園生協の森岡専務より事例報告をいただきました。取り組む上での工夫点や想いなども合わせて共有いただき、卒業生・組合員視点で見た際に、寄付したくなるような消費者視点でのご報告が特徴的でした。実際にどの会員生協でも実践できる内容ですので、この取り組みを多くの会員生協にも広げていきながら実践し、より多くの卒業生からの寄付メッセージにつなげていきましょう！

桜美林学園生協 事例報告

本日は、桜美林学園生協の森岡専務より、「卒業生からの寄付メッセージについて」ご報告いただきます。

・桜美林学園生協では、24年度新学期の卒業生からの出資金に伴う寄付メッセージを多く寄せていただきました。

・多くの卒業生からの寄付メッセージを寄せてもらうことができた工夫や背景をお話いたします。

スライドは、当日資料③になります。



実際に取り組まれた詳しい内容はもちろん、森岡専務自身の本制度への熱い想いを語っていただきました！
当日資料は
[こちらから](#)
閲覧可能です！

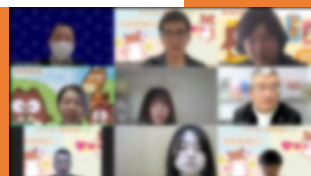
03 2025年度推進に向けて 推進委員の認識統一を！

2025年度推進方針/たすけあい奨学制度のつどいについて

最後の協議時間では、2025年度の奨学制度推進委員会での推進テーマを確認し、2023年-26年度で設定をしている第一期中期計画をもとに、2025年度ではどのような点の推進を強めることができると良いかを協議し、認識を統一しました。また、2025年度のたすけあい奨学制度のつどい実施に伴い、内容協議を行いながら、大学生協内外からの広く参加を呼びかけるなど、今後の内容づくりに関わる協議を行いました！

2025年 奨学制度 推進テーマ

1. 学生も「たすけあい奨学制度のつどい」を開催し、多くの方に制度を知っていただくこと、制度の周知につとめます。
2. 大学生協奨学財団での奨学制度は、[協会の大学への寄付金返還を目的とします。](#)
3. 全国学生協連での取り組みを促進するため、各大学での取り組みの共有や情報交換を目的とします。そのために各ブロックでの奨学制度推進委員会を開催し、取り組みの共有を目的とします。
4. たすけあいでの活動の充実促進、[特に卒業生への寄付金返還の取り組みを推進します。](#)
5. 大学生協奨学財団に、推進機関や運営、資金を支援、[制度の認知の向上](#)を目的とします。
6. 協会の活動、[特に卒業生への寄付金返還の取り組みを推進します。](#)
7. 協会の活動、[特に卒業生への寄付金返還の取り組みを推進します。](#)



2025年度がスタートしました！今年度は大学生協内に本制度の認知を広めることはもちろんのこと、組合員や大学・社会にも発信しながら、本制度の意義や魅力などを広げていきましょう！

つながる元気、ときめきキャンパス。



1 貧困をなくそう



4 質の高い教育をみんなに



次回日程
2025年4月19日（土）14:00~17:00
お問い合わせは下記まで。
瀬川 大輔(zaidan@univ.coop)

奨学財団評議員会開催のご報告

I. 一般財団法人全国大学生協連奨学財団（略称：大学生協奨学財団）
「第17回定時評議員会」を以下のように開催しましたので報告します。

- 開催日時 2024年12月13日（金）18時10分～18時58分
- 開催場所 つくば国際会議場 中ホール300+オンライン
- 評議員総数および定足数
 - ・評議員総数 9名、定足数5名
 - ・出席評議員数6名 下線は欠席

◇出席

米山高生（大学生協連副会長）、吉山功一（大学生協連常務）、加藤有希（大学生協連学生委員長）、只友景士（大学生協連教職員委員）、川添信介（福知山公立大学長）、足立光太郎（東京外国語大学生協専務）、中根正人（愛知県公立大学生協専務）、平井雄大（宮崎大学生協専務）、酒巻智生（コカ・コーラボトラーズジャパン(株)ベンディング戦略カスタマー本部長）

◇理事出席：武川正吾、中森一郎、白取義之、楚輪松人、石川勝也、中野駿、木村純、永井伸二郎、風折昌樹、川之上勲、西堀有紀、五十川規洋、高橋慶

◇監事出席：今井靖雄、新井明

◇オブザーバー：高橋良延、瀬川大輔、平塚りみ、久保初寧、志村颯太

◇議案説明及び報告：米山高生評議員会会長

◇事務局：佐藤智之、渡邊和典、堀池智

■議題

- 第1号議案 2024年度(第6期)事業報告書及び計算書類等承認の件
- 第2号議案 2025年度(第7期)「事業計画」「収支予算」「資金調達及び設備投資の見込み」報告承認の件
- 第3号議案 評議員、理事・監事選任の件
- 第4号議案 大学生協奨学事業2024年度年次報告承認の件
- 第5号議案 審査基準表及び賛助会員規程改定の報告承認の件

※新たに選任された評議員、理事、監事は以下の通り

評議員：加藤有希の後任に、高須啓太（大学生協連学生委員）

理事：中野駿の後任に、瀬川大輔（大学生協連学生委員）、西潟優羽の後任に、平塚りみ（東京ブロック学生委員）、西堀有紀の後任に、久保初寧（関西北陸ブロック学生委員）

監事：諏訪哲男の後任に、高橋良延（岩手大学生協専務）

※今期を以て任期満了となり重任した理事は以下の通り

理事：武川正吾、中森一郎、白取義之、楚輪松人、石川勝也、木村純、永井伸二郎、風折昌樹、川之上勲、五十川規洋、高橋慶

以上が全員一致で選任された。

以上を以て、評議員会を終了した。

奨学財団理事会開催のご報告

I. 一般財団法人全国大学生協連奨学財団（略称：大学生協奨学財団）
「2025年第1回理事会」を以下のように開催しましたので報告します。

- 開催日時 2024年12月13日（金）19時00分～19時10分
- 開催場所 つくば国際会議場 中ホール300 +オンライン
- 理事総数および定足数
 - ・理事総数 14名、定足数8名
 - ・出席理事数14名 下線は欠席

◇実出席

武川正吾理事長（大学生協連会長）、中森一郎専務理事（大学生協連専務）、白取義之（大学生協連常務）、瀬川大輔（大学生協連学生委員）、永井伸二郎（コープみらい社会活動財団理事長）、風折昌樹（立命館生協専務）

◇オンライン

楚輪松人（金城学院大教授）、石川勝也（コープ共済連常務理事）、木村純（コープさっぽろ社会福祉基金理事長）、川之上勲（佐賀大学生協専務）、平塚りみ（東京ブロック学生事務局）、久保初寧（関西北陸ブロック学生事務局）、高橋慶（TD SYNEX執行役員）、五十川規洋（三井住友海上火災保険広域法人部長）、

◇出席監事

今井靖雄（静岡大学生協専務）、新井明（大学生協事業連合常勤監事）、高橋良延（岩手大学生協専務）

◇出席評議員：米山高生、吉山功一、中根正人、足立光太郎、川添信介

◇事務局：渡邊和典、佐藤智之、堀池智

◇オブザーバー：加藤有希、中野駿、志村颯太（大学生協連学生委員）、西堀有紀（関西北陸ブロック学生委員）

■議題

◆決議事項

①理事長(代表理事)、専務理事(代表理事)選任の件

◆協議事項

なし

◆報告事項

①この間の応募・給付・寄付、業務等に関する報告
②2024年度第5回理事会開催報告

◆その他

次回理事会を、2025年2月25に(火)15:00～開催することと、2025年度理事会開催日程を確認した。

以上を以て、第1回理事会を終了した。

奨学財団理事会開催のご報告

I. 一般財団法人全国大学生協連奨学財団（略称：大学生協奨学財団）
「2025年第2回理事会」を以下のように開催しましたので報告します。

- 開催日時 2025年2月25日（火） 15時00分～16時24分
- 開催場所 大学生協杉並会館4階 会長室＋オンライン
- 理事総数および定足数
 - ・理事総数 14名、定足数8名
 - ・出席理事数10名 下線は欠席

◇実出席：瀬川大輔（大学生協連学生委員）

◇オンライン

武川正吾理事長（大学生協連会長）、中森一郎専務理事（大学生協連専務）、白取義之（大学生協連常務）、楚輪松人（金城学院大教授）、石川勝也（コープ共済連常務理事）、木村純（コープさっぽろ社会福祉基金理事長）、永井伸二郎（コープみらい社会活動財団理事長）、川之上勲（佐賀大学生協専務）、風折昌樹（立命館生協専務）、平塚りみ（東京ブロック学生事務局）、久保初寧（関西北陸ブロック学生事務局）、高橋慶（TD SYNEX執行役員）、五十川規洋（三井住友海上火災保険広域法人部長）

◇出席監事

今井靖雄（静岡大学生協専務）、新井明（大学生協事業連合常勤監事）、高橋良延（岩手大学生協専務）

◇事務局：渡邊和典、佐藤智之

◇オブザーバー：志村颯太、小谷晃輝、仲間英（大学生協連学生委員）

■議題

◆決議事項
なし

◆協議事項
① 中期計画の具体化 [たすけあい奨学制度のつどい] について
② 臨時評議員会開催について

◆報告事項
① この間の応募・給付・寄付、業務等に関する報告
② 第17回定時評議員会&第1回理事会開催報告
③ 大学生協奨学制度推進委員会開催報告
④ 25年度第1四半期決算報告

◆その他
次回日程の確認 6/20（金）14:00-16:00

以上を以て、第2回理事会を終了した。

事務局からのお知らせ

～ たすけあい奨学制度の広報にぜひ、ご活用ください ～

大学生協別 給付実績・アンケート

①全国大学生協同組合連合会(全国大学生協連)HP

<https://www.univcoop.or.jp>

②左下の「Staff Only」

③右側の「大学生協奨学財団」

④すべてのニュース

「2025年1～3月における審査結果のお知らせ」

「2024年10～12月における審査結果のお知らせ」

⑤下部にあるExcelファイル

「審査結果_お知らせ」「アンケート一覧表」をクリック

⑥ダウンロードした

「審査結果_お知らせ」「アンケート一覧表」を開き、

左上に会員生協コード4桁を入力

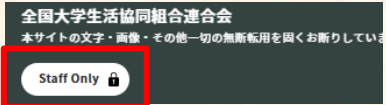
大学生協別、直近3カ月分の

「たすけあい奨学制度」の給付実績が表示

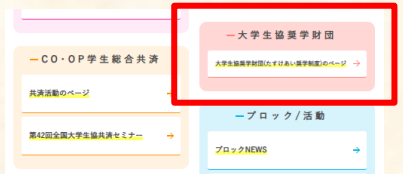
①



②



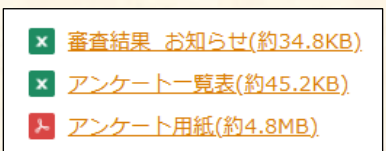
③



④



⑤



⑥



三角ポップ



学生が集まる食堂や掲示板に！

①全国大学生協同組合連合会HP

②左下の「Staff Only」→ ③大学生協奨学財団

④すべてのニュース

「たすけあい奨学制度三角ポップのご案内」

⑤下記、pdfをダウンロード

たすけあい奨学制度ご紹介(約338.8KB)

個人賛助会員募集(約387.8KB)

たすけあい奨学制度の販促物

[illegible]

寄付チラシ

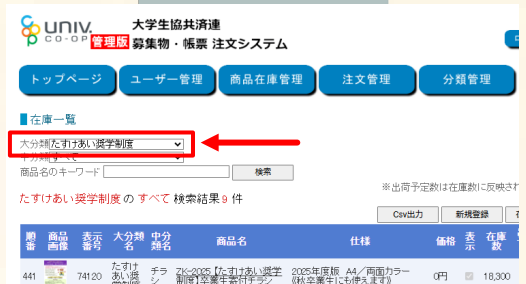
[illegible]

帳票システムから
さくっと注文

専用封筒
有効期限のチェック



募金箱



〒166-8790 東京都杉並区和田3-30-22 大学生協杉並会館
ホームページ <https://www.univcoop.or.jp/syogakuzaidan/>
財団公式 X(旧Twitter) @univcoopsf
お問い合わせ zaidan.iimu@univ.coop

財団公式 X(旧Twitter) @univcoopsf
お問い合わせ zaidan.jimu@univ.coop